

(仮称) 旧上瀬谷通信施設公園整備事業
環境影響評価方法書に関する指摘事項等一覧

※表中のゴシック体の部分は、前回(第10回)審査会における追加の指摘事項等を示しています。

■事業計画について

項目	No	指摘、質問事項等	事業者の説明等	取扱い
A 事業計画	A-1	樹林地の保全を検討していますが、樹林地をそのまま残し、人が入らないようにしてしまうと、逆に荒れてしまいます。保全イコール手を加えないことではないことを理解してほしいです。 [6/28 審査会]	樹林地を残すことも重要ですが、樹林地の価値を公園利用者にも感じてもらうことも重要だと思っています。今後の設計の中で取り込んでいきたいです。 [6/28 審査会]	説明済 [6/28 審査会]
		樹林地に人を入れてほしいというわけではなく、森林としての機能も持たせるために空間は確保してほしいということです。 [6/28 審査会]		
	A-2	樹林地を残す場合、連続性という意味からも、林縁部が必要になってきます。林縁部を重視するという考え方を持って、整理してほしいです。 [6/28 審査会]	本事業でも、現在、そのように考えています。今後、具体的に検討していく中で、その辺りも取り入れていきたいです。 [6/28 審査会]	説明済 [6/28 審査会]
		林縁部を重視することも、できれば人との距離を取れる空間を作ってほしいという意味もあります。 [6/28 審査会]		
A-3	池を造ると書かれていますが、どうするのか、検討してほしいです。また、近くに湧水があり、ホトケドジョウが確認されていますので、調整池がホトケドジョウに影響しないか気になります。どうやって保護するのかを調整池の関係も含めて考え方を示してほしいです。 [6/28 審査会]	基本的には、本事業で池を造る計画は今のところありません。土地区画整理事業で調整池を造る調整は連携しながらやっています。ホトケドジョウの生育環境をどのように守っていくかという観点で、土地区画整理事業と連携して、今後どのようにすればいいか検討していきたいです。 [6/28 審査会]	説明済 [6/28 審査会]	
A-4	水辺空間の検討と書いてありますが、ここに池は造らないということですか。 [6/28 審査会]	水辺空間の検討の中で、池を積極的に造っていくかは、現在まだ決まっていません。生き物に配慮した水辺空間を検討していきたいです。 [6/28 審査会]	—	
	分かりました。是非ホトケドジョウとの関連をしっかりとって検討してほしいです。 [6/28 審査会]			

項目	No	指摘、質問事項等	事業者の説明等	取扱い
A 事業計画	A-5	樹林地の保全検討という部分については、手を入れる里山風の森林を残すようなことも考えてほしいです。ただ、それは、散策ルートを作って人を入れてほしいという話ではないです。単に放置するのではなく、人が手を入れながら保全していくような森林を検討してほしいです。 [7/27 審査会]	御意見等を踏まえて、樹林地の保全と林縁部の扱いについては、維持管理手法や保全の手法を含めて、今後検討します。 [7/27 審査会]	説明済 [7/27 審査会]
	A-6	林縁部は動物にとって、重要な役割を持っています。そこを人が歩いてしまうと、動物にとっても利用しにくい場所になりますので、森だけを守って、その林縁部は人が利用するエリアにしないでほしいです。 [7/27 審査会]		
	A-7	林縁部のボリュームは具体的にどの程度を考えたらいいか、お考えを教えてください。 [7/27 審査会]	—	—
		多ければ多いほどいいですが、どれくらいだと駄目なのかという基準がないです。ケースバイケースで、人との空間を切り離す方法はいくらでもあると思います。これぐらいというのは言えないところです。 [7/27 審査会]		
	A-8	水辺空間の検討で不快生物について何か予測をされていますか。団地の近くに止水域を造ると、蚊などが発生し、近隣から苦情が出る話を聞きますので、何か考えがありますか。 [7/27 審査会]	現状、アセスでそこまでやっていません。どのようなしつらえにするかや保全の手法については、今後検討を進めていきます。 [7/27 審査会]	説明済 [7/27 審査会]
	A-9	水辺空間の検討が相沢川と和泉川の両方に書いてあります。この二つの川を暗渠化するということですか。 [7/27 審査会]	和泉川はいじりませんが、土地区画整理事業で、相沢川と大門川は暗渠化する予定です。 【土地区画整理事業者】 [7/27 審査会]	次回以降、 補足説明予定
		相沢川は、土地区画整理事業で暗渠にしたうえで、公園事業で新たに水辺空間を創出するか検討するということがよいですか。 [7/27 審査会]	両事業である程度やっていくイメージで捉えてください。 【土地区画整理事業者】 [7/27 審査会]	
		どちらの事業で何をどこまでやるのかを明確にしないと、アセスのしようがないです。早急に両事業でしっかり調整を図り、より具体化をするようにお願いします。 [7/27 審査会]	分かりました。 【土地区画整理事業者】 [7/27 審査会]	

項目	No	指摘、質問事項等	事業者の説明等	取扱い
A 事業計画	A-10	相沢川を暗渠化して、代わりに水辺空間を創出するのであれば、元々ある水辺空間を生かした新たな水辺空間の創出のほうが、手取り早いのではないですか。全部埋めなくても何とかなるかと思えます。 [7/27 審査会]	なぜ全て暗渠化するかというと、相沢川は上流があり、流量が多いという関係があります。相沢川は暗渠化ですが、それと合わせて、今ある環境を整えるためにどうするのかを考えるために水辺空間を検討しているところです。次回、詳しい内容を説明します。 【土地区画整理事業者】 [7/27 審査会]	土地区画整理事業で説明済 [8/31 審査会]
	A-11	北側の観光・賑わい施設や南側の住宅エリアからの人の利用を事業計画としてどう考えていますか。入口の場所が限定的であり、隣の土地利用との関係性がよく見えませんでした。 [7/27 審査会]	北側の土地利用の詳細が未定なので、そこからの人の流入が見えていないです。今後、北側の土地利用の深度化に合わせて検討を進めていきます。 [7/27 審査会]	説明済 [7/27 審査会]
	A-11	隣接する土地利用を踏まえて、この区画の範囲の検討を始めるのはいつですか。 [7/27 審査会]	観光・賑わい地区の計画についてはまちづくり協議会で検討している段階で、公園と一体感が取れないかという形の検討をしているところです。まだ検討段階であり、示せる段階がいつかは、今答えられる状況でないです。 【土地区画整理事業者】 [7/27 審査会]	
	A-12	公園のエリア構成の図において、環境保全のためのスペースが余り表現されていません。人のスペース、環境保全のスペースは、ゾーニングにおいてはきちんと配慮されるべき事項なので、環境保全のスペースをどのようにこの中で検討されていますか。 [7/27 審査会]	水辺空間の検討や樹林地の保全のところが、主な環境保全のスペースとなります。公園として整備を行いますので、環境の保全を考えていくのは当然だと思っています。そういった中で検討を進めていきます。 [7/27 審査会]	次回以降、補足説明予定
	A-12	やはりアセスとして環境保全措置を実施する場所はゾーンとして必要です。その場所をどのように検討されていますか。 [7/27 審査会]	公園の詳細の計画を詰めている段階であり、どの部分で環境保全のスペースとしていくのかを明示できるかを含めて、今後作業の中で検討します。 [7/27 審査会]	
	A-12	どちらも検討中とのことですが、アセスのスケジュールに乗ってこないで、影響を予測評価できないまま事業が後付け的に行われることはアセスとして望ましくありません。元から暫定的な土地利用であると位置付けるべきではないですか。後からでも環境保全措置が実施できるような空間として確保するという考え方が重要で、施設群を配置することが目的になるのは本末転倒だと思います。 [7/27 審査会]	—	

この資料は審査会用に作成したものです。審査の過程で変更されることもありますので、取扱いにご注意願います。

項目	No	指摘、質問事項等	事業者の説明等	取扱い
A 事業計画	A-13	<p>本事業は未確定な部分が多いですが、裏を返せば変えられる部分がまだあるということです。先行している土地区画整理事業の調査や保全すべき内容などの方向性が出されているので、これを踏まえて本事業は事業計画を修正できます。それはポジティブな話なので、その部分を生かしていったらどうですか。</p> <p>[7/27 審査会]</p>	<p>土地区画整理事業で検討をして、示したものを本事業として受け継いでやっていくことについては、しっかりと連携を取っている状況です。御指摘のような進め方が今後できるかと思います。</p> <p>[7/27 審査会]</p>	<p>説明済</p> <p>[7/27 審査会]</p>
		<p>それは単にアセス手続き上のことではなく、全体としての事業の進め方のうえでも、先行するアセスの情報を生かしてもらえると理解してよいですか。</p> <p>[7/27 審査会]</p>	<p>そのとおりです。</p> <p>[7/27 審査会]</p>	
	A-14	<p>現時点で、まだ分からないということが非常に多いので、準備書段階までにはそこは明確にするようにしてください。</p> <p>[7/27 審査会]</p>	—	—
	A-15	<p>方法書 2-16 ページの「2.6 生物多様性の保全」と「2.7 緑の保全と創造」という項目の中に、「樹林、畑地、草地の大部分が造成される」という言葉が出てきますが、創り出すのではなく、むしろ改変してしまうということなので、「改変」と書いたほうが良いです。検討してください。</p> <p>[7/27 審査会]</p>	<p>分かりました。</p> <p>[7/27 審査会]</p>	<p>補足資料 7 で説明済</p> <p>[8/31 審査会]</p>

項目	No	指摘、質問事項等	事業者の説明等	取扱い
A 事業計画	A-16	<p>土地区画整理事業では、相沢川の東側にある調整池（調整池3）の上部利用ニーズが高いことが根拠で地下化するという話でした。公園事業として、どのような上部利用ニーズが高く、どのように地下化しなければいけないのですか。造成工事かと思いますが、工事規模はどのようなものを想定していますか。</p> <p>[8/31 審査会]</p>	<p>調整池の上の利用は、賑わい・レクリエーションのエリアとして設定しています。このエリアの中には、草地広場、遊具広場、硬式野球場、運動広場等々の公園施設が配置されることを現状、想定しています。</p> <p>[8/31 審査会]</p>	次回以降、補足説明予定
	A-17	<p>相沢川の東側に土地区画整理事業が示した環境保全措置のエリアがありますが、上部利用をそのすぐ東側でやらなければいけない理由の根拠がないように思います。</p> <p>[8/31 審査会]</p>	<p>上部利用と言っても、基本的には現況地形の高さを想定していますので、新たに何か造成を大きくして、地形を改変して地下に入れるものではありません。</p> <p>[8/31 審査会]</p>	
		<p>スポーツ施設や賑わい施設にする必要性はいかがですか。環境保全のほうを優先すべき空間にならないのですかということです。</p> <p>[8/31 審査会]</p>	<p>先ほど土地区画整理事業のほうで示したエリアは、そういったエリアとして、公園を計画していくものと認識しています。</p> <p>[8/31 審査会]</p>	
		<p>それは西側のエリアだと思えますが、調整池3のところ、環境保全を検討できないかということです。</p> <p>[8/31 審査会]</p>	<p>そちらについて、環境保全のみを選定するエリアとしては、現在のところ設定していません。</p> <p>[8/31 審査会]</p>	
		<p>その根拠を伺いたいです。</p> <p>[8/31 審査会]</p>	<p>持ち帰り、回答します。</p> <p>[8/31 審査会]</p>	
	A-18	<p>既存の調整池で十分に環境保全とレクリエーションを両立している多くの事例があります。例えば多段式であるとか、少し造成は入りますが、うまく水調整とレクリエーションを混在させるということは可能です。これは造成しないことを前提にしていますが、よりよい環境保全措置と人が使い利用するような土地の作り方を是非検討してください。</p> <p>[8/31 審査会]</p>	-	
A 事業計画	A-19 ※	<p>【審議での指摘事項等】</p> <p>土地区画整理は準備書段階で、環境保全措置はやれるところの上限があるかと思えます。公園整備と一体的に調整を取った上で、環境保全措置の限界を決める必要があります。もし準備書のほうが先に進んでしまった後も、公園整備の中で環境保全措置をできるだけ改良することができればと思えます。</p> <p>[8/31 審査会]</p>	<p>【事務局が回答】</p> <p>事業者に伝えます。</p> <p>[8/31 審査会]</p>	

※土地区画整理事業及び公園整備事業における指摘、意見等

■環境影響評価項目について

項目	No	指摘、質問事項等	事業者の説明等	取扱い
0 全般	0-1	土地区画整理事業で生物多様性を選定していますが、本事業でも、別途選定した理由は何ですか。 土地区画整理事業とは別の影響があるということですか。 [6/28 審査会]	土地区画整理事業において全部改変されますが、本事業としても、一部影響があるということで選定しています。 土地区画整理事業の事業内容や結果をみて、再度検討することもあるかもしれませんが、現時点では別の影響があるとして選定しています。 [6/28 審査会]	補足資料3で説明 [7/27 審査会] 次回以降、追加補足説明予定
	0-2	同じような調査項目を二重に取ることは、やめたほうがいいと思います。統一性を持たせて、省略できるところは省略するか、別にやるのであれば、その重畳効果や相乗効果について、別途評価してほしいです。 [6/28 審査会]	土地区画整理事業とも連携しながら、今後検討します。再度、御報告します。 [6/28 審査会]	
	0-3	2万5千分の1の地図で環境類型区分を作成していますが、微地形を分析した上でないと、環境の連続性等が非常に限られたマクロな検討になってしまうと懸念しています。 [6/28 審査会]	今後詳細に設計を進めていく中で詳細な検討をします。 [6/28 審査会]	補足資料2で説明済 [7/27 審査会]
	0-4	現状のマップが非常に粗く、調査計画の妥当性が検討できません。広域的過ぎるので、公園区域内をきちんと表現できるような環境類型区分を作成し、その中でどう調査地点が落ちるのか表現してほしいです。 [6/28 審査会]	—	
	0-5	公園自体が、土地区画整理事業の重要な保全地域、保全措置のフィールドとなります。それぞれの保全措置が水循環と連動しているため、公園区域に分布する5つの集水域をきちんと分けて、調査計画を立てることが重要です。 [6/28 審査会]	今後の工程等の詳細を検討していく中で、検討します。 [6/28 審査会]	補足資料2で説明済 [7/27 審査会]
	0-5	ゾーニングや事業計画で表現することではなく、的を得た調査計画に反映してほしいです。環境保全措置につながるデータを取ってほしいです。 [6/28 審査会]	—	

項目	No	指摘、質問事項等	事業者の説明等	取扱い
0 全般	0-6	土地区画整理事業の調査結果を 使えるものは何か利用するよう な話を聞いていましたが、一から 全部やるということですか。 [6/28 審査会]	土地区画整理事業が調査した時 点から環境に大きな変化はないと 考えるため、同じ調査結果を使う 予定です。 [6/28 審査会]	補足資料 1 で 説明済 [7/27 審査会]
		動植物の調査については、土地 区画整理事業の調査結果を使って 評価するということによいです か。 [6/28 審査会]	そうです。 [6/28 審査会]	
		同じ調査結果を使うのであれば、 基本的には土地区画整理事業 の結果を利用して評価しますとい う書き方に修正したほうがよいで す。 [6/28 審査会]	—	
	0-7	【審議での指摘事項等】 土地区画整理事業と本事業で、 どの調査とどれが共通したりする のかが、分かりにくかったです。 [6/28 審査会]	—	
0-8	補足資料 2 について、事業実施 区域を 4 つのゾーンに分けられて いますが、内部の異質性が地図の 中に表れていないので、もう少し 細かく見る必要があります。草地 のゾーンは地形的な変化は乏しい ですが、色塗りでは畑地だとか樹 林なんかも主立っていると思いま す。源流域に関しても、源流域を 1 つの環境類型区分ではなく、源 流域の中の環境の異質性を表現し た色塗りが必要です。植生や動物 の定点調査の位置が環境類型区分 によって説明されていないよう です。ポイントの判断をどうしてい るのですか。 [7/27 審査会]	草地と和泉川の表現の仕方は検 討していきます。調査地点はまた 検討したうえで、今の地点の妥当 性についても次回以降、報告しま す。 [7/27 審査会]	補足資料 8 で 説明予定 【本日】	

項目	No	指摘、質問事項等	事業者の説明等	取扱い
1 温室効果ガス	1-1	<p><u>温室効果ガスが工事中においても供用時も選定されていないですが、選定しない理由を確認したいです。</u> [8/31 審査会]</p>	<p><u>工事中は、土地区画整理の後に行う事業になり、本事業による大規模な土地の造成がないことから、建設機械の稼働や工事用車両の走行に関する温室効果ガスは非選定です。</u> 供用時は、自然を保全、活用する計画であり、エネルギーを大きく使用する施設は少ないことから、温室効果ガスの発生がわずかであると考え、非選定です。 [8/31 審査会]</p>	<p>補足資料 11 で 説明予定 【本日】</p>
		<p><u>現時点で計画が不明確な中で、その影響が少ないと言い切れるだけの根拠が分らないです。供用時に設ける施設も常に使うものなので、規模がどの程度かを示した上で影響が少ないと言わないと根拠には乏しいです。できれば選定して、適切に評価するのが前提かと思います。</u> [8/31 審査会]</p>	<p><u>次回以降に説明します。</u> [8/31 審査会]</p>	
3 水循環	3-1	<p>和泉川の水のほとんどは湧水が流れ込んできたものだという市民の意見があったと思います。もし湧水の量に大きな変化があると、和泉川の流量にも大きな変化が出ますし、水質に影響する可能性があります。水質と河川の形態、流量が非選定ですが、湧水と一体となっていると考えたほうがよいです。 [6/28 審査会]</p>	<p>持ち帰り、検討します。 [6/28 審査会]</p>	<p>補足資料 4 で 説明済 [7/27 審査会]</p>

項目	No	指摘、質問事項等	事業者の説明等	取扱い
3 水循環	3-2	<p>補足資料4の和泉川と湧水の流量について、豊水期と渇水期だけの最小と最大だけでみて、変動が河川流量のほうはないと結論づけて、選定しないという理由は、不十分である感じがします。湧水と連動して伏流水が出てきている形で河川流量が維持されている可能性もあります。本事業の工事や施設を造ることによって、湧水及びその伏流水に対する影響があつて和泉川の流況にも影響を及ぼす可能性はあるのではないかと感じます。 [7/27 審査会]</p>	<p>本事業として、大きく地表面を改変するようなことはないと考えますが、土地区画整理事業との整合性、進め方もありますので、一旦協議したうえで、報告します。 [7/27 審査会]</p>	次回以降、補足説明予定
	3-3	<p>土地区画整理事業には湧水4は河川への流出が認められず、データが出ていません。伏流水という形で流れ出している可能性があります。湧水4の流量がどれくらいあるのか分からないので、調べてほしいです。 [7/27 審査会]</p>	<p>確認して次回以降、報告します。 [7/27 審査会]</p>	
	3-4	<p>仮に本事業で水辺空間を整備することになった場合は、河川の形態、流量についても項目として選定しておくべきではないですか。 [7/27 審査会]</p>	<p>基本的に本事業で河川は手を入れないと考えています。一方で水辺空間の検討もありますので、一旦検討したうえで、次回以降、回答します。 [7/27 審査会]</p>	次回以降、補足説明予定
4 廃棄物・建設発生土	4-1	<p>公園事業でも建設発生土があるとなっているので、両事業でどこまで何をやるのかを教えてください。公園事業の建設発生土の相場も教えてください。 [7/27 審査会]</p>	<p>公園事業については、これから細かく計画をしていく段階となりますので、これから数字とかを出していく形になると思います。基本的には概略の基盤については、土地区画整理事業でやると理解してください。 【土地区画整理事業者】 [7/27 審査会]</p>	説明済 [7/27 審査会]
		<p>準備書までには本事業の廃棄物あるいは建設発生土の排出量も予測評価されるので、この手続き中には概ね分かるという理解でよいですか。 [7/27 審査会]</p>	<p>本事業については、そのとおりです。 [7/27 審査会]</p>	

項目	No	指摘、質問事項等	事業者の説明等	取扱い
8 地域社会	8-1	各駐車場の収容台数がいくらかが分からないと、周辺道路をどのように使ってそこに着くかという予測ができません。 [7/27 審査会]	駐車場の概ねの位置は示していますが、各場所でどの程度の台数が必要かは、今後、公園の設計を進めていく中で検討します。 [7/27 審査会]	説明済 [7/27 審査会]
	8-2	みどりの賑わい・レクリエーションエリアとみどりの発信エリアの公園利用者の往来があると思いますが、その間に道路があります。この部分をどう横断するのですか。平面交差ですか、立体横断施設を造るのですか。 [7/27 審査会]	どのように公園利用者を安全に行き来してもらうかについて、検討を進めている段階です。現段階でこういう形でと断定することが難しいです。 [7/27 審査会]	
	8-3	収容台数と横断については、準備書段階では、数字なり計画なりが明確になると思っていますか。 [7/27 審査会]	今のところその予定です。 [7/27 審査会]	
	8-4	工事中の交通混雑について、地点5にも工事用車両が通るのではないですか。公園の事業区域に接していますので、ここも予測が必要ではないですか。 [7/27 審査会]	現時点の計画では地点5に入る前に工事用車両が事業地内に流入することを想定しており、今後、計画を詰めていく中で、地点5を使用する場合は、追加について検討します。 [7/27 審査会]	補足資料9で 説明予定 【本日】
		地点5を通らずに工事用車両が事業予定地に行くということであれば、そのルートがこの地区内のどこを通って行くのかも示す必要があります。 [7/27 審査会]	工事用車両ルートについては、相談のうで示せるかどうかを検討します。 [7/27 審査会]	
	隣接しているので地点5を通らないことは余り考えられないですが、検討をお願いします。 [7/27 審査会]	—		
	8-5	供用時の交通混雑について、地点7で断面調査をもとに予測しますとありますが、信号交差点ではないので、断面を予測してもまず影響は出ないという答えしか出ないです。予測としては断面7よりも南側でどこかの交差点に取り付くと思いますので、その交差点できちんと処理ができるかが重要です。土地区画整理事業の評価とも関係しますが、考えを確認したいです。 [7/27 審査会]	土地区画整理事業と予測地点の整合を取っているのですが、一旦、地点選定の考え方については整理したうえで、報告します。 [7/27 審査会]	補足資料10で 説明予定 【本日】

項目	No	指摘、質問事項等	事業者の説明等	取扱い
9 景観	9-1	<p>本事業は利用者目線で地域の景観の変化を捉えなければならない環境です。現状の調査地点は、事業実施区域境界にしか落ちていないので、内部でどう変化するのか、造成の影響などどう生じるのか検討してほしいです。 [6/28 審査会]</p>	<p>本事業の実施で対象地域における圍繞景観、農地の広がりや崖地のつながりのような景観資源を変化させる恐れはないので、現在、調査予測項目として選定していません。 [6/28 審査会]</p>	<p>補足資料5で説明済 [7/27 審査会]</p>
		<p>本事業でも造成が入るという認識ですが、造成の影響がないということなのですか。 [6/28 審査会]</p>	<p>整地は行いますが、大規模な造成はほぼありません。 [6/28 審査会]</p>	
		<p>地形上の大きな改変がなく、圍繞景観を評価しないということであれば、景観が現状と変わらないことを記述する必要があります。 [6/28 審査会]</p>	—	
	9-2	<p>補足資料5について、地形的に改変しないことが近景域を評価しない理由になるのは不思議に思います。源流域が既存の植生から日本庭園に囲まれた環境になると、景観は大きく異なります。土地被覆の状況も非常に景観に影響を及ぼすのではないですか。 [7/27 審査会]</p>	<p>中からの見え方についてどう表現するか、再度、検討のうえで、報告します。 [7/27 審査会]</p>	<p>補足資料6で説明済 [8/31 審査会]</p>
	9-3	<p><u>補足資料6について、このような方法でよろしいです。この地点の根拠は、みどりの発信エリアや実践エリアに対する圍繞景観の評価という考え方とと思います。特に、体験農園や日本庭園などの新しい施設が予定されている地域を対象にしているので、その選定根拠がはっきりすると良いです。</u> [8/31 審査会]</p>	<p><u>承知しました。</u> [8/31 審査会]</p>	<p>説明済 [8/31 審査会]</p>
	9-4	<p><u>フォトモンタージュを使用されることは大変良いです。そのときにフォトモンタージュを用いて何を計測するのか、例えば、広がりのある景観が求められるところなので、見通し距離を求めるというのを加えるとより良いです。</u> [8/31 審査会]</p>	<p><u>検討します。</u> [8/31 審査会]</p>	<p>説明済 [8/31 審査会]</p>